

■説明パートテキスト

ということで今日はリユニオンを^{おこなって}行っていくよ。

リユニオンというのは「再会」や「再生」、「^{さいけつごう}再結合」などの意味として今回は使用しているね。

これはどういうものかと言うと、
失った魂の^{かけら}欠片を回収して再結合したり。
自分の中に混ざり込んだ他者の因子やノイズを分解して取りのぞいて、100%ピュアな自分を取り戻したり。
「本当の自分と再会する」ってことだね。

ボクの友人の言葉を借りて、もっとざっくりと表現するなら…
「別れた男を完全に忘れた人から、過去のトラウマを手放したい人」まで誰にでも役立つ^{ひぎ}秘儀ってわけだね。

ふむ…
こうして言葉にすると実に俗っぽくて悪くないね…ふふつ。
でも、これは割と重要な事だから、^{おろそか}疎かにはできない事案だと思うよ？

さて…
この^{ひぎ}秘儀を行う前に、前提となる^{えいち}叡智をいくつか教えていくよ。

まず大前提として、魂や記憶など、あらゆるものを^{いんし}因子として捉えた場合、それらは時として絵の具のように混ざり合って融合することがある。

この星の事例で理解したいなら、男女関係を例にするとわかりやすいかな？
純情な女の子が悪い男に引っかけたてしまい、その男と付き合い続けることで純情な女の子は遊びや悪い習慣を覚えてしまい…気付けば、かつての面影を感じさせない別人になってしまった。
その後は、^い出会った人物全てが悪い人間ばかりとなり、付き合う彼氏を変えても、なぜか悪い人間ばかりと縁ができてしまう。
そして…悪い縁を切ろうと何度頑張っても、いつの間にか再び悪い繋がりが生まれてしまう。

人間社会でよく見かける、実に悲しいドラマだね。

こうした悲劇が何故生まれるかと言うと…答えは簡単で、相手の因子が自分に融合したからだね。

つまり…付き合った相手の因子が自分の中へと入りこみ融合して、お互いの因子が混ざり合った状態になるわけだね。

こうして因子が混ざり合うと、相手の悪影響を大きく受けてしまう。

人間は付き合い始めるとすぐに性行為をするから、その行為も因子の融合に拍車をかけるね。

性行為を行い、^{ねんまくせつしよく}粘膜接触をして^{たいえきこうかん}体液交換を行えば、情報はあっという間に伝達して混ざり合い、相手の情報を自分の中に混ぜこむことになる。

「付き合い始めると、相手の色に染め上げられる」ってのは、つまりはそう言うことだよ。

このあたりは小町ちゃんが教えている^{のろいやこまち}呪い屋小町第4巻「水の技法」が詳しいから、興味があれば学んでおくことをお勧めするよ。

こうした形で融合した因子や魂というのは生半可な方法では分離ができないし、分離ができないから、いつまでも自分を苦しめる。

別れた昔の恋人をいつまでも引きずって忘れられないのは、未練を断ち切れないのではなく、実は相手の因子が自分の中に入り込んで^{はいりこん}いるからであって、相手の因子が自分の中に混ざりこみ融合して定着しているから、いつまで経っても未練を持ち、思いを引きずってしまうわけだね。

悪い人間との縁を切ろうとしても、気付けば再び縁が繋がってしまうというケースも本質的には同じだよ。

繋がった糸をいくら切っても、悪い人間と関わった時に植え込まれた因子が植物のタネのように自分の中に残っているから、そのタネが発芽して根を伸ばして悪い縁と再び繋が^り、悪い人間を呼び寄せるわけだね。

^{ちまた}巷でよく言われる「初めて付き合った恋人がどうしようもない相手だと、その後^ごに付き合う恋人もダメな人間になる確率が高い」ってのは、初めての相手に悪い因子を植え付けられて悪影響を受け続けているから、その後の選択を間違え続けてしまうわけだね。

こうして^{ねぶかく}根深く因子が融合してしまったケースでは、^{たいしりょうほう}対処療法をいくら行なっても無駄で、自分の中に混ざり込んだ相手の因子を分離して排除しなければ、同じ過ちを何度も繰り返すわけだね。

という事で前半のパートではこうした事態をうまく処理していくよ。

これはとても重要な叡智であり、^{ぜんじんるい}全人類に行ってもらいたいくらいの内容だからね。

次は後半パートについてだけ。

今話した叡智と同じ理由で、君は自分の因子や魂やエネルギーを世界各地に落としてしまったり忘れてしまったりしていることがある。

知らない間^{あいだ}にどこかに心を置き忘れたり、とある時間軸の出来事に心が囚われていたり、いつの間にか情熱やエネルギーや才能を失っていたってのも、これにあたるね。

後半ではこうした魂の忘れ物や落とし物に対処して、失った力を回収していくよ。

これは君が本来の自分自身に戻るための叡智だから「重要」なんて言葉じゃ言い表せないくらい必須のものになるからね。

今回の秘儀を学ぶにあたっただけど、基本的には前提条件は無いよ。

この巻^{かん}単体で学べる内容になっているから安心して欲しい。

さらに大きな効果を期待したい場合は、魔法使い入門^{ワン}1の第4巻「ガイド」を習得していると効果が段違いに引き上がるから強くお勧めするよ。

あと、ファルミシエル先輩が教えているエクスキューショナー第5巻「魔法の獵犬^{りょうけん}チェイサー」を習得していると、どこかに落としてしまった魂の欠片を回収しやすくなるから、こちらもお勧めだね。

■まとめパートテキスト

レッスンお疲れ様。

今回は自分が自分であるために必須な叡智を伝えたけど、どうだったかな？

さて…

このあとは座学の時間になるけど、

これは補足のようなものだから水を飲みながら気楽に聞くといいよ。

まずは夢の世界についての補足知識。

夢の世界を通して悪意あるものが接触して、変なものを植えつけてくるというケースが時おり存在する。

夢の中で感じた嫌な感覚が残り続けたり、夢から覚めた^{あと}後でも不安を引きずってしまう…などの状況がソレだね。

リユニオンはそうした状況にも対応できるから、そのまま普通に行うだけでも夢で植え込まれた因子を除去できるし、気になる場合は「夢」に意識をフォーカスして、夢自体を遠心分離機にかけて異物を分離して排除していくといい感じだね。

次は因子の分離に関する知識。

自分の因子とそれ以外の因子を分離したあと、元の場所へと戻す行為がイメージしにくい場合は、魔法使い入門^{ワン}1の第2巻「ブレード」を使用して、イメージの刃^{やいば}で「自分の因子」と「その他の因子」をスパッと切り分けると、もとある場所へと戻しやすく処理がしやすくなるね。

あとはエクスキューショナー第2巻リーパーで学んだ死神の鎌を使って切り分けたり、断罪もかねて「その他の^た因子」を切り裂き、あるべき場所に返すというのもいいやり方だよ。

このあたりの切り分けはフラットな感覚で行うことを強くお勧めする。

切る時に怒りなどの感情で執着してしまえば、せっかく因子を分離したのに、自らの意思で再び自分の中に悪い因子を作り出すことになりかねないからね。

次はガイドに関して。

今回の秘儀ではガイドにお願いする方法を幾つかおすすめしたけど、ガイドは高次に位置する強力な存在だから、自分一人では足りない部分や繊細な調整、ベストな采配も行ってくれるし頼りになる存在だからね。

極端に言えば、遠心分離機を使わなくても、因子の分離や処理の工程全てをガイドの力にお任せするのも構わない。

ガイドの力はあらゆるケースで頼りになるから、もしも習得していない場合は学んでおく事を強くおすすめするよ。

それと同様にエクスキューショナー第5巻の魔法の獵犬チェイサーも今回の秘儀では特に有効で、チェイサーは追跡特化の存在なため、君が失った魂のカケラの匂いを鋭く嗅ぎ分け、どこまでも追跡するからね。

失った魂のカケラを取り戻すのに最適な存在だから、是非とも活用することをお勧めするよ。

次はリユニオンの頻度について。

この星はほかの時空に比べてかなりアレな場所だから、知らない間に他者から因子を植えこまれたり、望まぬ形でエネルギーを奪われてしまうことも少なくない。

だからリユニオンは時おり行うといいかもだね。

いくらピカピカの新車でも、時間がたてば汚れがつくかもしれないし、知らない間にキズをつけられるかもしれない。

リユニオンを行う頻度は環境によるね。

特に問題のない落ち着いた環境であれば半年や1年くらいの長いスパンでも構わないし、干渉がある環境なら1ヶ月から数ヶ月。

ハードな環境にいるなら1週間単位とか。

僕が口にした単位はあくまで目安でしかないし、本人を取り巻く環境の難易度や本人の干渉のされやすさによっても大きく変化するからね。

だから具体的な日数にこだわらず「自分の色が変化した」「自分らしくなくなった」と感じた時にはすぐに行ったり。

そうでなくても定期メンテナンスとして1ヶ月から数ヶ月ごとに行うのもベストだと思うよ。

ふむ…補足事項はだいたいこれ位かな？

この内容は人類全てが行ってもいいくらいの重要な内容だし、伸び代がある人類だからこそ、こうした秘儀で各人が本当の自分自身になってほしいからね。

ああそうだ…。

ボクの友人が君のために、とても役立つ叡智をテキストとして補足してくれたから、あとでしっかり目を通すことをお勧めするよ。

彼女もあれでなかなか世話焼きなところがあるからね…フフッ。

さて…今回も充実したレッスンができて僕も嬉しいし、断罪技法以外の内容を伝えられたこともとても嬉しい。

たまにはこういうのも悪くないよね。